

- ・ 事前資料としてもらったマンダラチャートと野生ポスの投稿を読み込んで、メンバーKさんに何を伝えようかと考えた。研究や英語、プログラミングスキルの向上には、現実的にKさんの役に立てると思えなかったのも、会社や指導教官からは言われたいこと、人間関係に関することを、しつこく聞いていくことが自分にできることだと思って、臨んだ。

1年前の承認式で「聞かれないことはあるか」と陽子さんに聞かれて、Kさんは「ある」と答えた。それを合宿で話してくれたことは、Kさんにとって大きなターニングポイントになったと思っていた。ただ、その変化が振り返りの投稿では触れられていなかったのが気になって質問した。

そして、以前にも伝えたことがあるが、私は高い目標を掲げている人ほど、人の力を借りることが必要だと思っている。Kさんは、目標の高さに対して、普段の生活からは、人の力を借りる機会が少ないように思っていた。自立しているのはKさんの良いところだけど、それ以上に力を借りることへの抵抗や遠慮が強くあるのではないかと。もっと言うと、人の力を必要としているのが伝わって来ないと、踏み込んで聞いてみたつもりだった。

が、範囲を特定せずに聞いてしまったことで、何だか話が噛み合わない。Kさんの答えに納得してしまいそうになるのを、陽子さんから途中何度か「これでいいの？」と声をかけられ、質問を続けた。

もう1人のメンバーAさんが途中で、具体例を出してくれて、ああ、こういう場面で具体例を伝えると、相手にイメージが湧くんだなあと、具体例を用意して来なかったことを反省した。

今回Aさん、私の目標設定会の時と比べて、陽子さんの発言回数は少なかったと思う。それは、私が伝えるのを、もどかしく思いながらも、待っていてくれたのだと思う。粘ってみたものの、最終的にはギブアップした感じになってしまって、大変申し訳なかったし、悔しかった。

最終的に、陽子さんが私の言いたいことをまとめて伝えてくれたら、ものの1分もかからずKさんに伝わった。

冒頭「人の力を借りる」について、引っ張って話をし過ぎてしまったが、それを通して私が伝えたかったのは、Kさんが無意識に壁を作っていることだった。でも、伝える前に私自身、質問の本質が掴めていなかった。なので、遠回しな言い方になって、時間を使ってしまったと、後から反省した。

相手が気付いていないこと、無意識のことを伝えるのは、難易度が高い。それは、今年になってチームItoのMtgでも何度も経験しているが、チームItoのメンバーだから理解しようと耳を傾けてくれるが、よそだったら、「そんなことはない」と否定されて話が終わってしまうだろう。それをどうやって伝えていくか。シンプルに伝えることが、実はとっても難しいのだと、今回思った。

Kさんのお役に立つどころか、逆に学ばせてもらった目標設定会だった。

でも、目標設定会の中で、Kさんから「全て繋がっている」という話を聞いて、Kさんの目標を特別視していたのは私だったんだなと気が付いた。みんなが取り組んでいるインプットやアウトプットと同じように、取り組んでいる分野が異なるだけ。そう考えると、関われることはもっとあるはずだと思った。

合宿前にそれぞれの目標設定会に参加したことで、お互いの目標や課題がリアルに共有できたと思う。具体的にどう関わっていくかを、合宿で話し合いたい。

声をかけてくださったKさん、ご一緒した陽子さん、Aさん、ありがとうございました！！

(E.M 40代女性 埼玉県)